



# かわさき GIGA スクール構想

未来社会の創り手を育む かわさきの新しい教育

川崎市は令和2年度中に義務教育課程1人1台分のコンピュータ端末及び市立学校の高容量の通信ネットワークを一体的に整備し、かわさき教育プランの理念である「夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く学び」を推進します。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

## GIGAスクール構想とは

GIGAとは「Global and Innovation Gateway for All」の略で、Society5.0時代に生きる子どもたちの未来を見据え、1人1台分のコンピュータ端末及び高容量の通信ネットワークを一体的に整備する取組です。令和元年12月に文部科学省より打ち出されました。

小・中学校は Chromebook



特別支援学校は iPad

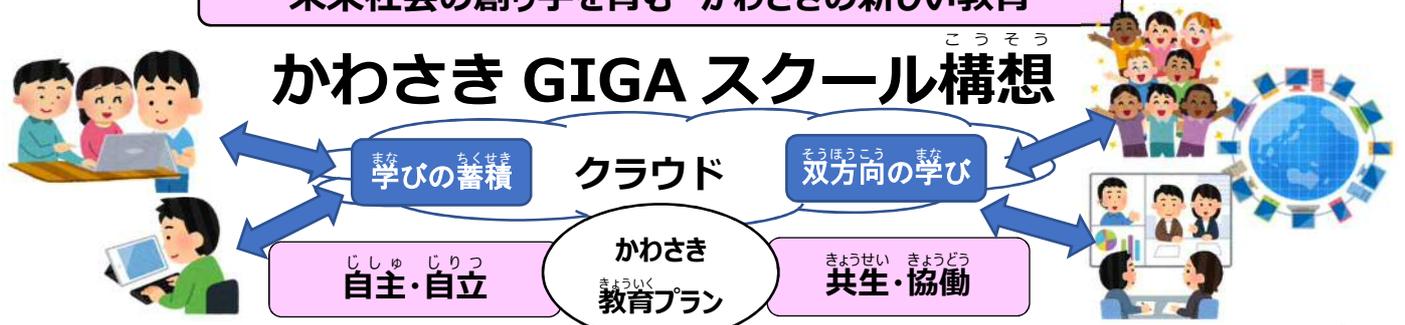


特別支援学級は Chromebook

かわさき GIGA スクール構想では、個別学習、協働学習、一斉学習のどの学びにおいてもクラウドを利用し、学びを蓄積し、双方向の学びを可能にすることによって、かわさき教育プランの基本目標である「自主・自立」「共生・協働」を実現します。例えば下のような学びが可能になります。

未来社会の創り手を育む かわさきの新しい教育

## かわさき GIGA スクール構想



クラウドにある各教科等での学びがつながり、さまざまな社会課題を探究し、解決する。

コンピュータ端末を通してさまざまな人とつながり、学ぶ中で、自分自身の在り方や生き方について考える。

インターネットにつながることで可能となる学び

クラウドを利用することで、既習や他者とつながり、学習活動が一層充実し、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善ができる。

キーワードは つながる

友達と一緒に文章やプレゼンテーションの作成をし、考えを共有しながら学び合うことができる。



先生は一人一人の考えを自分のコンピュータ端末で把握し、適切に支援ができる。一斉学習の場面でも双方向の授業が可能になる。



一人一人の学習状況に応じた個別学習ができる。



このような学びを展開するためには、子どもたち一人一人にコンピュータ端末を使用する際のアカウント（IDとパスワード）が必要となります。川崎市では、小学校入学から中学校卒業まで、アカウントを貸与することにいたしました。また、学習指導要領に学習の基盤として示されている「情報活用能力」の育成にも力を入れ、子どもたちがコンピュータ端末を活用できるよう指導していきます。

